



おはなしの

マッチばこ



私達は、おはなしのろうそくに  
火をともし マッチです。

この箱が、さまざまなお話を  
マッチで いっぱいになるように。  
心をこめて送ります。

## 3月のストーリーテリング勉強会

2012年3月14日(水) 午前9:30~12:00

主催:高知県立図書館 参加者:11人

次回の勉強会は

**4月11日(水)**

9:30~12:00 です

場所:当館3階小会議室

### 今月のおはなし

#### 1. 空へのぼったかさ屋 7分

『お花とどろぼう』(市原麟一郎/文 高知新聞社)より

【語り手から】高知の人がどんなふうにかかれるのか、ずっと気になっていましたので、少しホッとした気分です。ありがとうございます。

#### 2. やまんばのにしき 11分

『やまんばのにしき』(まつたにみよこ/ぶん せがわやすお/え ポプラ社)より

【語り手から】9年前に語りました。2度目です。

#### 3. 三びきの子ブタ 10分

『イギリスとアイルランドの昔話』(石井桃子/編・訳 福音館書店)より

【語り手から】全部おぼえきれなくて、つまってばかりでした。もっともっと練習して、お話のリズムを生かせるよう語りたいです。

#### 4. 北風をたずねていった男の子 10分

『子どもに語る北欧の昔話』(福井信子・湯沢朱実/編訳 こぐま社)

【語り手から】たくさんの方の前で語るのははじめてでしたので、とてもキンチョーしました。もっと勉強が必要だと感じました。ありがとうございます。

#### 5. 鼻まがりの魚 11分

『世界むかし話 東南アジア』(光吉夏弥/訳 ほるぷ出版)より

【語り手から】語るより聞く方が……。とにかく“カンボジア”の話を何かと思ひ、選びました。

#### 6. シダの谷のブラウニー 13分

『灰まみれと大海へび』(バージニア・ハピランド/[著] 学校図書)より

【語り手から】以前からおぼえたいと思っていましたが、中学年に使えたらと思ひ、おぼえてみました。

#### 7. コウノトリ 17~18分

『子どもに語るアンデルセンのお話・2』(松岡享子/編 こぐま社)より

【語り手から】コウノトリのひなの成長とお父さんお母さんとのかわりかは、アンデルセンの小さい頃の家をモチーフにしているように思う。聞いていただき、ありがとうございます。

#### 8. おししのくびはなぜあかい 8分

『おそばのくきはなぜあかい』(石井桃子/文 初山滋/え 岩波書店)より

【語り手から】低学年の子に語る人が多いのですが、どの年齢の子でも大人でも楽しんで聞いてくれます。

#### 9. ペんぺんぐさ(詩) 2分

『ありがとう私のいのち』(星野富弘/著 学研パブリッシング)より

【語り手から】母の肩をたたきながら、おはなしを聞いてもらっていた時のことを思い出して、なつかしくなりました。